

第一海防隊
千振、第十七號、第十九號

内令第八四〇號
海防隊編制左ノ通定メラル
昭和十九年七月十日

海
軍
大
臣

内
令

九五七



海軍公報

第四七九五號

昭和十九年九月九日(土)
海軍大臣官房

○令 達

内令第一〇四一號

海防隊編制中左ノ通改定セラレ

昭和十九年九月五日

海軍大臣

第一海防隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第十一海防隊 第一號、第三號、第五號、第七號

(内令提要卷一、七二頁参照)

秘海軍公報 第四七九五號 昭和十九年九月九日

秘

海軍公報

第四八三六號

昭和十九年十月二十七日(金)

海軍大臣官房

○令 達

内令第一一九七號

海防隊編制中左ノ通改定セラレ

昭和十九年十月二十日

秘海軍公報 第四八三六號

昭和十九年十月二十七日

一四一九

海 軍 大 臣

第十二海防隊ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

第十二海防隊 第十四號、第十六號、第三十八號、第四十六號

第二十海防隊 笠戸、干珠、蒲珠、三宅

(内令提要卷一、七二頁參照)

内令第一二七二號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十九年十一月十五日

海 軍 大 臣

第二十一海防隊ノ項中「笠戸、」ノ下ニ「生名、」ヲ加フ

(内令提要卷一、七二頁参照)



海軍公報

第四八六三號

昭和十九年十一月二十八日(火)

海軍大臣官房

○令 達

内令第一二八五號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十九年十一月二十日

海 軍 大 臣

第一海防隊ノ項中「千振、」ノ下ニ「第十三號、」ヲ加フ

第十一海防隊ノ項中「第七號」ノ下ニ「、第三百三十號、第三百三十四號」ヲ加フ

(内令提要卷一、七三頁参照)



海軍公報

第四八七七號

昭和十九年十二月十三日(水)

海軍大臣官房

○令 達

内令第一三一九號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十九年十一月五日

海軍大臣

第二十一海防隊ノ項中「生名、」ノ下ニ「屋久、」ヲ加ヘ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第三十一海防隊

朝瀬、第六十一號、第六十三號、第二百七號

(内令提要卷一、七二頁参照)



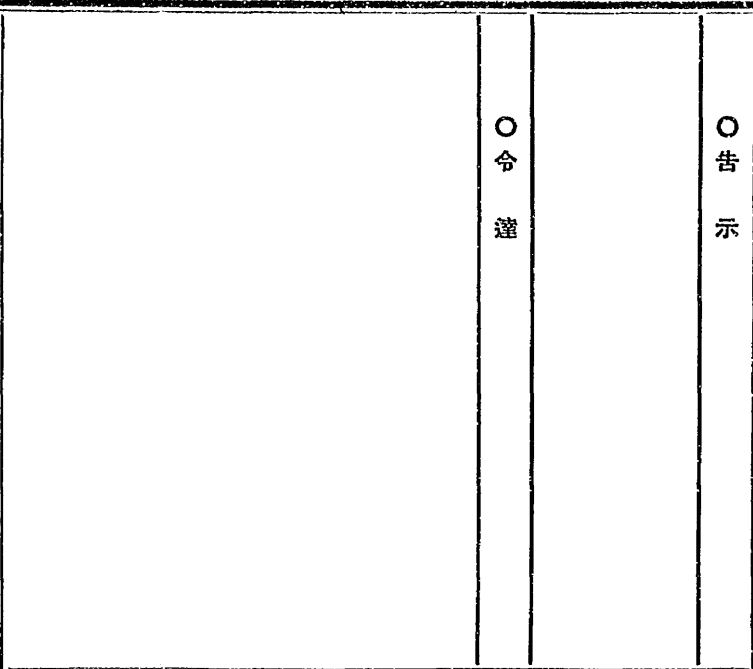
海軍公報

第四八九〇號

昭和十九年十二月二十八日(木)
海軍大臣官房

○告示

○令 達



内令第一三八一號
海防隊編制中左ノ通改定セラル
昭和十九年十二月二十五日

海軍大臣

秘海軍公報 第四八九〇號 昭和十九年十二月二十八日

一六六七

第二十一海防隊ノ項中「笠戸、生名、屋久、干珠、滿珠、三宅」

ヲ「生名、新南、干珠、滿珠」ニ改ム

第三十一海防隊ノ項中「朝顔、」ヲ「沖繩、」ニ改ム

(内令提要卷一、七三頁參照)



海軍公報

第四九〇〇號

昭和二十年一月十一日(木)

海軍大臣官房

○令 達

内令第九號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和二十年一月五日

海 軍 大 臣

第二十一海防隊ノ項ノ次ニ左ノム項ヲ加フ

第二十二海防隊 第八號、第三十二號、第五十二號、第六十六號

(内令提要卷一、七三頁參照)

内令第二七號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和二十年一月十日

海 軍 大 臣

第十一海防隊ノ項中「第七號、」ヲ削ル

第十二海防隊ノ項中「第三十八號、」ヲ削ル

(内令提要卷一、七三頁参照)



海軍公報

第四九一五號

昭和二十年一月二十七日(土)

海軍大臣官房

○ 令 達

内令第五二號
海防隊編制中左ノ通改定セラル

秘海軍公報 第四九一五號 昭和二十年一月二十七日

昭和二十年一月二十日

海 軍 大 臣

第十一海防隊ノ項中「第五號、」ノ下ニ「第三十六號、」ヲ加
フ

第十二海防隊ノ項中「第四十六號」ノ下ニ「、第三百三十二號」
ヲ加フ

（内令提要卷一、七三頁参照）

「千振、倉橋、能美、第十三號、第十七號、第十九號、第三十九號」ニ改ム

(内令提要卷一、七三頁參照)

内令第九九號

海防隊編制中左ノ通改定セラレ

昭和二十年二月五日

海軍大臣

第一海防隊ノ項中「千振、第十三號、第十七號、第十九號」ヲ

内令第二二三號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和二十年三月十日

海軍大臣

第一海防隊ノ項中「千振、」及「第十七號、第十九號、」ヲ削
ル
第十一海防隊ノ項中「第三號、」ヲ削ル

(内令提要卷一、七三頁参照)



海軍公報

第四九九六號

昭和二十年四月二十七日(金)
海軍大臣官房

○令 達

内令第三三二號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和二十年四月十五日

海 軍 大 臣

第二十一海防隊ノ項中「新南」ノ下ニ「第二十七號」ヲ加フ

(内令提要卷一、七四頁参照)



海軍公報

第五〇〇二號

昭和二十年五月五日(土)

海軍大臣官房

○令 達

崎戸、對馬、レヲ加フ
第三十一海防隊ノ項中「沖繩、第六十一號、第六十三號、第二百七號」ヲ「沖繩、粟國、第二十二號、第二十六號、第六十三號、第八十一號、第二百七號」ニ改ム

(内令提要卷一、七三頁參照)

内令第三五六號

海防隊編制中左ノ通改定セラレ

昭和二十年四月二十五日

海 軍 大 臣

第一海防隊ノ項中「第三十九號」ノ下ニ「第七十二號、第七十六號」ヲ加フ

第十一海防隊ノ項中「第三十六號、レノ下ニ「第五十五號、第五十七號、レヲ加フ

第十二海防隊ノ項中「第十四號」ノ上ニ「久賀、稻木、レヲ加フ

第二十一海防隊ノ項中「干珠、レヲ削ル

第二十二海防隊ノ項中「第八號」ノ上ニ「鶴來、大東、竹生、

内令第三八三號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和二十年五月五日

海 軍 大 臣

第一海防隊ノ項中「能美、」ノ下ニ「神津、」ヲ加フ

第二海防隊ノ項中「第二十七號」ノ下ニ「第百九十四號」ヲ加フ

(内令提要卷一、七三頁参照)

内令第四〇七號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和二十年五月十日

海 軍 大 臣

第十一海防隊ノ項中「第百三十號、第百三十四號」ヲ削ル
第二十二海防隊ノ項中「、第六十六號」ヲ削ル

(内令提要卷一、七三頁參照)

内令第四二四號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和二十年五月十三日

海 軍 大 臣

第二十一海防隊ノ項中「生名、」ノ下ニ「志賀、」ヲ加フ

(内令提要卷一、七三頁參照)

内令第四四八號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和二十年五月二十日

海 軍 大 臣

第十一海防隊ノ項中「第五十七號、」ノ下ニ「第七十」號
ヲ加フ

第二十一海防隊ノ項中「第百九十四號」ノ下ニ「第百九十八
號」ヲ加フ

(内令提要卷一、七三頁參照)



海軍公報

第五〇二七號

昭和二十年五月三十一日(木)

海軍大臣官房

○令 達

海 軍 大 臣

第一海防隊ノ項中「能美、レヲ開ル
第十一海防隊ノ項中「第一號、第五號、レヲ開ル

(内令提要卷一、七三頁參照)

内令第四六六號

海防隊編制中左ノ通改定セラレ

昭和二十年五月二十五日

内令第四七四號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和二十年五月二十七日

海 軍 大 臣

第三十一海防隊ノ項中「栗國、」ノ下ニ「奄美、」ヲ加フ

(内令提要卷一、七三頁參照)



海軍公報

第五〇四三號

昭和二十年六月十六日(土)

海軍大臣官房

○令 達

内令第四九七號

海防隊編制中左ノ通改定セラレ

昭和二十年六月一日

海軍大臣

第二十一海防隊ノ項中「滿珠、」ヲ削ル

(内令提要卷一、七三頁参照)



海軍公報

第五〇五五號

昭和二十年六月二十八日(木)

海軍大臣官房

○令 達

海 軍 大 臣

第十二海防隊ノ項中「第七十一號」ノ下ニ「第七十五號」ヲ
加フ

(内令提要卷一、七三頁参照)

内令第五四六號

海防隊編制中左ノ通改定セラレ

昭和二十年六月十五日



海軍公報

第五〇七四號

昭和二十年七月二十日(金)

海軍大臣官房

○令 達

海軍大臣

第一海防隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第二海防隊

屋代、保高、波太、千珠、第二號、第三十四號、第八十二號

(内令提要卷一、七三頁參照)

内令第五九五號

海防隊編制中左ノ通改定セララル

昭和二十年七月三日

海軍大臣

第十二海防隊ノ項中「稻木、」ノ下ニ「高根、」ヲ加フ

(内令提要卷一、七三頁參照)

内令第六〇一號

海防隊編制中左ノ通改定セララル

昭和二十年七月五日

内令第六五五號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和二十年七月十六日

海 軍 大 臣

第十一海防隊ノ項中「第七十五號」ノ下ニ「第七十九號」ヲ
加フ

(内令提要卷一、七三頁參照)



海軍公報

第五〇八八號

昭和二十年八月三日(金)

海軍大臣官房

○令 達

内令第六六五號

海防隊編制中左ノ通改定セララル

昭和二十年七月二十三日

海軍大臣

第一海防隊ノ項中「神津、」ノ下ニ「伊唐、」ヲ加フ

第十二海防隊ノ項中「第三百三十二號」ノ下ニ、「第五百五十六號」

ヲ加フ

(内令提要卷一、七三頁参照)



海軍公報

第五一〇一號

昭和二十年八月二十日(月)
海軍大臣官房

○令 達

内令第七一九號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和二十年八月十日

海軍大臣

第一海防隊ノ項中「第七十二號、」ヲ削ル

(内令提要卷一、七三頁参照)



海軍公報

第五一〇三號

昭和二十年八月二十二日(水)

海軍大臣官房

○令 達

内令第七四四號

海防隊編制左ノ通改定セラル

昭和二十年八月二十二日

海軍大臣

第二十三海防隊ノ項中「第二百二十一號」ノ下ニ「第二百二十五號」ヲ加フ

(内令提要卷一、七三頁参照)